

2025年度 長岡大学シラバス

授業科目名	経済・経営の現場を知る 1 (Topics of Economy and Management 1)					担当教員	高橋 哲郎 (タカハシ テツロウ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型 AL／外部講師招聘科目
	2013-0-11-040	教養科目	必修	2 単位	1 年次	後期		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型 AL／外部講師招聘科目
	2413-0-11-038	教養科目	必修	2 単位	1 年次	後期		

① 授業のねらい・概要
本講義では、新潟県の地域経済を支える中小企業の事例を中心に、各業界の経営戦略や課題を学ぶ。農業・食品加工、製造業、観光、IT・デジタル産業など多様な分野を扱い、地域における産業の特徴や経営環境を理解する。地元企業の事例を取り上げ、経営者の視点や事業展開の実際を学ぶ機会を提供する。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
1 地域社会に貢献する姿勢／2 職業人として通用する能力を養う。
③ 授業の進め方・指示事項
講義は、パワーポイントを活用し講義を行う。参考資料はインターネット上の教材フォルダから閲覧する方法で進める。講義冒頭で前回講義の復習を行う。正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
経済・経営の現場を知る 2
⑤ テキスト(教科書) ※授業で使用する。
テキスト指定なし。授業開始時にインターネット上の教材フォルダから閲覧する方法を指導する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
新潟県統計課ホームページ「にいがた県統計ボックス」 その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。
⑦ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
新潟県の主要産業について理解し、地域経済の構造を学ぶ。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 主要産業・企業の特徴を理解し、地域経済との関連をある程度説明できる。 (ii) 企業の経営戦略・ビジネスモデルを適切に分析し、課題や改善点についてある程度考察できる。 (iii) 学んだ内容をキャリアや実践的な視点で考え、ある程度応用できる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 地域経済・産業の理解 (新潟県の主要産業や企業の特徴、地域経済との関連についての理解)	新潟県の主要産業・企業の特徴を深く理解し、地域経済の構造との関係性を的確に説明できる。	主要産業・企業の特徴を理解し、地域経済との関連をある程度説明できる。	基本的な産業・企業の特徴を理解しているが、地域経済との関連の説明に一部不足がある。	産業や企業の特徴を部分的に理解しているが、地域経済との関係の説明が不十分。	主要産業や企業の特徴をほとんど理解しておらず、地域経済との関係も説明できない。
(ii) 経営戦略・ビジネスモデルの理解 (地域企業の戦略やビジネスモデルを理論的に分析し、課題や展望を考察できるか)	企業の経営戦略・ビジネスモデルを理論に基づき分析し、具体的な課題や改善策を論理的に考察できる。	企業の経営戦略・ビジネスモデルを適切に分析し、課題や改善点についてある程度考察できる。	企業の戦略・ビジネスモデルの基本的な理解はあるが、分析が表面的で、課題の考察が不足している。	企業の戦略・ビジネスモデルの理解が不十分で、課題の指摘や考察が乏しい。	企業の戦略やビジネスモデルについて理解できておらず、考察がほとんどできていない。
(iii) 実務的視点と応用力 (講義内容を自らの考察や将来のキャリアに結びつけ、具体的に応用できるか)	学んだ内容を自身の考察や将来のキャリアに明確に結びつけ、具体的な応用アイデアを示せる。	学んだ内容をキャリアや実践的な視点で考え、ある程度応用できる。	学んだ内容をキャリアや実務に関連付けて考えようとしているが、応用の具体性が不足している。	学んだ内容と自身のキャリア・実務との関連付けが不十分で、応用の視点が弱い。	学んだ内容をキャリアや実務に結びつける視点がなく、応用の意識が見られない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		30%		10%		100%
(i) 地域経済・産業の理解	25%		15%		3%		43%
(ii) 経営戦略・ビジネスモデルの理解	25%		15%		3%		43%
(iii) 実務的視点と応用力	10%				4%		14%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	イントロダクション、授業の目的・進め方	講義の復習（地域経済と中小企業の役割、新潟県の産業構造の概要）	180分
2	農業・食品産業の経営	講義の復習（新潟米・日本酒・食品加工のブランド戦略）	180分
3	伝統工芸・ものづくり産業	講義の復習（燕三条の金属加工・刃物・洋食器産業）	180分
4	観光産業と地域活性化	講義の復習（新潟の観光業とインバウンド戦略）	180分
5	酒造業とブランド戦略	講義の復習（日本酒産業の現状と海外展開）	180分
6	食品加工業の挑戦	講義の復習（地域資源を活かした商品開発）	180分
7	建設・インフラ産業	講義の復習（災害復興と地域密着型建設業の経営）	180分
8	IT・デジタル産業の新展開	講義の復習（DX推進と地域企業）	180分
9	製造業のグローバル展開	講義の復習（燕三条の輸出戦略と技術革新）	180分
10	物流・流通業と地域経済	講義の復習（新潟港・物流拠点の役割）	180分
11	環境・エネルギー産業	講義の復習（地域の再生可能エネルギー事業）	180分
12	医療・福祉産業の発展	講義の復習（高齢化社会と地域医療・介護ビジネス）	180分
13	ゲスト講義（企業経営者）	講義の復習（地元企業の経営者・実務家による講演）	180分
14	ケーススタディ発表・ディスカッション	講義の復習（受講生による地域企業の調査発表と意見交換）	180分
15	まとめとキャリア形成	講義の復習（学びの総括、地域経済と自身のキャリアを考えるワークショップ）	180分

⑫ アクティブラーニングについて
<p>知識定着・確認型ALを採用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。 ・前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性